

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 細胞制御学
(氏名) 尾崎 恵一 (職名) 助教授

【研究テーマ】

1. チロシンキナーゼ型受容体(RTK)を介した ERK-MAP キナーゼ系シグナルに対するフィードバック・インヒビター: *Sprouty*に関する研究
2. RTK/Ras/ERK-MAP キナーゼ経路、PI3 キナーゼ/Akt 経路を標的とした癌分子標的治療法に関する研究
3. ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤を基盤とした新規癌分子標的治療法の開発
4. 低酸素培養がヒト癌細胞株に及ぼす影響に関する研究

【論文発表】

B 邦文

(B-d) 紀要

1. 「ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)を標的にした癌分子標的治療法の開発」 平成 15 年度教育研究改革・改善プロジェクト研究報告

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

- 1, 尾崎恵一, 岸川二葉, 河野通明: ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用によるヒト卵巣癌細胞株のシスプラチン耐性克服, 第 63 回日本癌学会学術総会, 福岡
- 2, 尾崎恵一, 宮崎沙月, 河野通明: *Sprouty1-Sprouty4* 共発現による FGF シグナル抑制効果の増強とそのメカニズムについて, 第 27 回日本分子生物学会年会, 神戸
- 3, 蓑田亜依, 岸川二葉, 尾崎恵一, 河野通明: ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤との併用による各種抗がん剤の作用増強, 第 21 回日本薬学会九州支部大会, 長崎
- 4, 川田敬, 藤原雄介, 谷村進, 尾崎恵一, 河野通明: Akt 経路遮断剤との併用による Doxorubicin の抗がん作用増強, 第 21 回日本薬学会九州支部大会, 長崎

【研究費取得状況】

1. EGF シグナル遮断薬の感受性を決定する *Sprouty-2* 転写物の意義; 科学研究費補助金基盤研究 (C)

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	18 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	1 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	2 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	12 編
特許	0 件		